

## MRI、PET検査を受けた皆様へ（臨床研究に関する情報）

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂く必要があります。

量子医科学研究所（以下、量研）では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、本研究とは別途に実施された別の臨床研究のデータをまとめて解析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

[研究課題名] アルツハイマー病患者のタウPET評価のための国際標準マスク作成に関する国際共同研究  
[データを解析する対象となる別途に実施された臨床研究]

「放射性リガンド<sup>[18F]</sup>PM-PBB3 の脳内タウイメージング製剤としての有効性及び安全性に関する研究」(研究計画書番号 16-036)

「脳内タウ PET イメージングを用いた統合失調症と前頭側頭型認知症の共通病態の同定に関する研究」(同 16-037)

「脳内ホスホジエステラーゼ 10A および脳内タウのイメージングによる双極性障害の背景病態に関する PET 研究」(同 17-027)

「<sup>[18F]</sup>PM-PBB3 を用いた神経変性疾患におけるタウ蛋白病変と臨床症状の関連性についての研究」(同 17-034)

[研究機関] 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所

[研究責任者] 高堂 裕平

[共同研究機関] Australia's Commonwealth Scientific and Industrial Research Organisation (以下、CSIRO)

[研究の目的]

本研究の目的は、アルツハイマー病患者におけるタウPETの国際標準となる解析法を確立することです。

[研究の方法]

●対象となる方

2017年2月～2020年8月に上記の臨床研究に参加された方（健常の方および患者さん）

●利用する研究情報

**別途実施済みの研究データを使用しますので、新たな質問や検査の必要はありません。**

年齢、性別、教育年数、診断、アミロイドPETの陽性/陰性情報および検査所見（MRI画像、タウPET）

- 放医研において匿名化した診療情報（年齢・性別・教育年数・診断とアミロイドPETの陽性/陰性情報）とPETならびにMRIデータをCSIROに提供し、解析を行います。

[個人情報の取り扱い]

**お名前や個人情報が出ることは、一切ありません。**

利用する情報からは、お名前、住所など、対象者の方を直接同定できる個人情報は削除します。また研究成果を学会や学術雑誌で発表する際も、対象者の方を特定できる個人情報は利用しません。

**上記の研究にご自分の研究記録を使ってほしくない方、またはその代理人の方は、2020年12月25日までに申し出ください。**

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。いつでもお断りいただけますので、その場合は、下記 [問い合わせ先：窓口] に お申し出ください。ただし、データを解析して個人情報と切り離してしまった場合には取り除けないことがあります。その場合にも個人情報が表に出ることはありません。

[問い合わせ先：窓口]  
千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1  
量研機構QST病院臨床研究支援室  
電話；043-206-4713  
平日；8:30 ～ 17:00